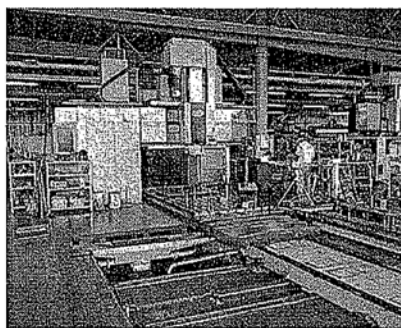


ファイン
アルザ
アデ

金属部品加工に進出

砺波製作所の事業継承

産業機械メーカーのアルファード
ザイン(長野県東御市、森沢正良社
長)が今年5月に経営破綻した金属
部品製造の砺波製作所(富山県砺波
市)の事業を引き継いだことが分か
った。成長が見込める医療機器向け
部品などの開発を急ぐ。主要顧客の
電子部品メーカーが投資を抑えるな
か、金属部品に進出して顧客を広げ、
収益基盤を固める狙いだ。



機械加工を担う砺波製作所の井波工場も引き継いだ(富山県南砺市)

関係者によると、砺波 出資で設立した同名の子
製作所はすでに清算。ア 会社が砺波製作所の本社
ルファードザインが全額 工場と井波工場(富山県

南砺市)の事業を引き継
いだ。新会社の資本金は
1千万円。

本社工場は板金やプレ
ス加工、井波工場は切削
など機械加工をこれまで
通り担当し、約120人
の雇用を継続した。旧会
社からの建物の取得など
で約3億円を投じた。

森沢社長が新会社の社
長に就任、営業担当の常
勤取締役として1人を
送り込んだ。旧会社の社
長は相談役に退く一方、
他の重役は新しい経営陣
に加わり経営再建を急

ぐ。
新会社はアルファード
ザインが電子部品の実装
装置などで培った開発ノ
ウハウを活用。医療機器
や農業機械向けを重点分
野に位置づけ「今後は顧
客ごとに作り込んだり提
案したりできるようにす
る」(森沢社長)。アル
ファードザインが外注し
ていた部品加工を新会社
に委託し、コストの削減
も狙う。
アルファードザインの
2009年6月期の売上
高は約20億円。半導体や
電子部品メーカーからの
受注が落ち込み、ピーク
時を約3割下回った。部
品加工の分野で顧客開拓
を進め3年後は新会社と
あわせ50億円を目指す。
砺波製作所は自動車な
ど幅広い業種の部品加工
を手がけていたが昨秋か
らの受注減で収益が急速
に悪化。約20億円の負債
を抱え今年5月に民事再
生法の適用を申請した。

「研究開発型企業の集積を」

経済4団体
知事に要望

長野県内の経済4団体
は8日、村井仁知事を囲
む合同懇談会を長野市内
のホテルで開催した。席
上、長野県経営者協会の
山浦愛幸会長が新たな産
業政策として、研究所や
研究開発型企業の集積が
必要と要望。これに対し
知事は「賛成であり、優
遇制度をどうするか
など、知恵をいただきたい」
と前向きな意向を示し
た。
山浦会長は工場誘致は
競争が激しくなっている
ことを指摘。「東京に近
く、自然環境がいい長野

パソコン機器の設計開
発を手掛けるスリック

1
る。軸が回転して突起物
がくし齒に蝕れ音を出す
ク